

令和3年度 社会福祉法人 恵春会 事業計画

理念 人間尊重の精神と人間平等の思想の実現

- 方針
- 1 個人の自由と権利の尊重
 - 2 自立への援助
 - 3 施設は地域社会福祉の核となれ
 - 4 職員は専門職としての誇りと研鑽を
 - 5 在り続けるために不断の努力を

1 はじめに

この度、法人は、新たな方針として「在り続けるために不断の努力を」を定めることとなった。これは、法人の理念である「人間尊重の精神と人間平等の思想の実現」に基づき、地域にとって、ご利用者及びご家族の皆様にとって、そして勤務する全ての職員にとっての拠り所として、法人が「在り続ける」ために、必要とされるあらゆる努力をたゆまず行っていくという姿勢を表したものとなる。

令和3年度は制度改正の年であり、介護報酬等の報酬改定を主として、様々な変更が予定されている。また、新型コロナウイルス等感染症への対応及び地震、豪雨といった災害発生時におけるサービス提供体制の確保、有事に備えた事業所間連携体制の構築、将来の人手不足に備え、令和3年2月より受け入れた外国人技能実習生をはじめとする人材の確保及び育成、諸規程の見直しによる労務環境の改善等、早急な対応を要する課題が山積しているため、法人としては、新たな方針を含めた理念、方針の実現に向けて、昨年度に引き続き下記の目標達成に向けて取り組んでいきたい。

2 重点目標

- (1) 福祉サービスの質の向上
- (2) 安定した法人経営の実現
- (3) 地域共生社会の実現と地域貢献
- (4) 「人財」の確保・定着・育成の充実

3 計画の概要

(1) 福祉サービスの質の向上

ア 満足度調査等による業務の評価と改善への取り組み

各事業所が提供しているサービスに関する客観的な評価を得るため、ご利用者様及びご家族への満足度に関する調査を継続的に実施し、改善に向けた検討を行う。

イ 人材育成体制の整備・強化による専門職の養成

職員の多様なニーズに対応した各種キャリア形成の支援を整える。特に新人に対する教育指導の体制、また管理者層やリーダー層育成のための教育体制を整備し、組織マネジメント力やリーダーシップを高められるようにする。さらに各職員の研修ニーズを把握し、将来のキャリア形成につながる育成方策を講じる。

(2) 安定した法人経営の実現

ア 介護保険収入及び障害者福祉サービス費の報酬改定に向けた対応

介護保険収入及び障害福祉サービス費収入の報酬改定をふまえ、各事業所で改定後の加算等の取得に基づくシミュレーションを行い、増収に向けた対応をとる。

イ 入所施設における利用定員の充足及び新規ニーズへの対応による在宅関連事業の稼働率の向上

入所事業においては、定員が充足していない施設があり、引き続き定員を充足するための体制作りを最優先に行う。また、各事業所の定員充足率や利用率といった実績データを定期的に収集し、法人全体の現状を常に把握しながら、必要な課題を抽出し実行していくことで、地域に選ばれる事業所として競争力を獲得する。

ウ 外国人介護技能実習生の受入

2025 年問題に代表される将来の介護人材不足に備え、昨年度受け入れているミャンマーからの外国人技能実習生について、今年度は技能実習計画に従った適切な実習の遂行による、技能等の積極的な習得を目指す。また、実習生の生活管理にも細かく配慮し、実習が円滑に進められるよう環境を整える。

エ 長期予算計画の立案

建物の老朽化が全体的に進んでおり、修繕費が恒常的に計上されていることに加え、平成 28 年の熊本地震の影響も今後予想されるため、建物の建て替えを含めた資金計画を立案する。加えて、省エネ化や防犯防災対策、車両といった必要な設備の更新や大規模修繕等について、負担が単年度に集中しないように予定を立て、必要な資金の見積もりに基づいた施設整備計画を作成する。

オ 効率的業務への検討

報酬改定等により収益の確保が困難になっている現状をふまえ、各施設の職員にコスト意識を持たせ、効率的な業務遂行についての意識付けを行うとともに、人員配置、業務担当の割り振り、各種委員会等必要な組織の整備を行う。また、各拠点区分での予算に基づいた収支の管理を徹底し、個々の拠点で確実に収益をあげられるような取り組みを行うとともに、長期予算計画に基づいた積立金の積み立てを実施する。

カ B C P（事業継続計画）の策定による感染症対策及び防災、事故等リスク管理への取り組み

新型コロナウイルスやインフルエンザといった感染症や、台風・豪雨災害等の風水害、事故といった、法人の事業運営に大きな影響を及ぼすリスクに対して、必要なサービス提供の体制確保を目的としたB C P（事業継続計画）を策定し、感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みの徹底、防犯及び防災に関する避難対応マニュアルの見直し、事故防止に向けた取り組みや事故発生時の適切な対応といった点について、担当委員会を軸として組織的な安全対策体制の整備に取り組み、必要な研修、訓練の機会を設ける。

キ 働き方改革に対応した諸規程の整備と働く意欲を高める取り組み

今年度も引き続き働き方改革に沿った諸規程の見直しを行いながら、各事業所で定めている諸規程の均衡化に取り組む。また、現場の指導職を対象とした労働法規、メンタルヘルス、各種ハラスメントといった内容に関する研修を実施し、職場内環境の向上及び指導力の養成を図る。

(3) 地域共生社会の実現と地域貢献

ア 相談支援センター絆の移転による地域包括支援センターささえりあ城南との一体的運営の確立

令和3年1月より新庁舎「城南まちづくりセンター」内に移転したささえりあ城南及び相談支援センター絆において、「80・50問題」に代表される「世帯単位で複数分野の福祉的課題を抱える」という現代特有の状況へ対応することを目的として、複数の分野を束ね、必要とされる支援を迅速に行えるよう体系的・計画的な人材育成を行う。

イ 公益的活動への取り組み

生計困難者レスキュー事業による生活困窮者への支援をはじめとして、地域における様々なニーズへ対応するために、公益的取り組みについて再度法人内に周知を図り、各事業所及び職員間の連携を強化することで、対応の幅を広げる。

ウ 各施設及び事業所が有する機能の地域への還元に向けた取り組み

認知症カフェやサロン活動を基点として、地域の方々が気軽に集まって楽しい時間を共有できる環境を整え、イベント、行事等を通して地元の住民との良好な関係づくりを行う。また、熊本地震の経験を活かし、災害や緊急時

に避難が必要な方々の受け皿として、各施設、事業所が十全に機能するために必要な物資の確保や避難マニュアルの整備と定期的な図上訓練等を実施する。

(4) 「人財」の確保・定着・育成の充実

ア ICT等の活用による業務省力化、職員の負担軽減への取り組み

慢性的な人材不足により、介護の現場で勤務する職員の心身の負担を軽減するため、ノーリフトケアをはじめとする抱えない介護への取り組み及び機器の活用による業務効率化を推進する。

イ 資格取得支援の活用による職員の資質の向上

社会福祉士、介護福祉士といった資格の取得に関して、職員のニーズを考慮しながら、法人としての取得率の目標設定を行い、達成に向けて助成制度の対象、内容等の見直しを行う。

ウ 就業時間、人員配置を主とした職員の労務環境の見直し

各事業所で職務分掌に関する見直しを行い、一般職、主任、管理職といった職員の職種ごとの職務内容や責任の範囲を明らかにすると同時に、業務の洗い出しを行い、正規職員、非正規職員といった職員の採用形態ごとの業務の割り当てを検討する。

エ 職員の雇用形態や職種、職責に応じた研修計画の作成

新人、中途採用といった雇用形態や、役職に合わせて、必要な技術と知識を確実に習得するための研修計画を策定する。また、人事考課制度と連動し、職員個々の資質と適性、志望等をふまえ、複数の研修システムの構築を検討する。

オ 腰痛予防、ストレスチェック等の活用による、職員の心身の健康維持

業務によるけがや病気を未然に防ぎ、職員が健康を維持しながら働ける環境を実現するため、法令で定められた健診の実施に加え、腰痛ベルトの支給や休憩室の整備を行い、自己管理への意識付けを高める。また、職員の意見を容れ、ハード、ソフトの両面から負担軽減に向けた取り組みを検討する。

カ こばやし医療・福祉グループ内の各種行事、人材交流等の企画実施

職員への福利厚生の一環として、歓送迎会ミニバレー大会等の実施を継続して行い、グループ内の職員間交流を深めるとともに、全体研修等の機会を設け、グループ全体の結束を高める。

4 法人の概要

- | | |
|----------------|--------------------|
| (1) 主たる事務所の所在地 | 熊本市南区城南町沈目 1502 番地 |
| (2) 電話番号 | 0964-28-4680 |
| (3) 代表者氏名 | 小 林 佳 之 |
| (4) 法人認可年月日 | 昭和 48 年 11 月 6 日 |
| (5) 法人認可番号 | 第 1009 号 |

(6) 設立登記年月日

昭和 48 年 12 月 5 日

5 法人の行う事業

事業の 種類	施 設 種 別	名 称	定員	職員
第 1 種 社会福祉 事業	障害者支援施設	くまむた荘	80	58
	特別養護老人ホーム	祥麟館	50	34
第 2 種 社会福祉 事業	老人デイサービス事業	祥麟館デイサービスセンター	25	4
	障害福祉サービス事業	くまむた荘デイサービスセンター春秋館	20	5
		くまむた荘ショートステイ	8	
	特定障害者相談支援事業	相談支援センター 絆		7
	障害児相談支援事業			
	一般相談支援事業			
	老人短期入所事業	祥麟館ショートステイ	10	
	生計困難者に対する相談支援事業	恵春会生計困難者 レスキュー事業		
	小規模多機能型 居宅介護事業	小規模多機能型居宅介護 くまのしょう	29	12
公 益 事 業	居宅介護支援事業	祥麟館居宅介護支援事業所		3
	サービス付き 高齢者向け住宅事業	サービス付き高齢者向け 住宅くまのしょう	20	2
	地域包括支援 センター運営事業	熊本市南 6 地域包括支援 センター		6
	有償運送事業	くまむた荘		
	日中一時支援事業	くまむた荘	8	

6 役員等の状況

(1) 役員構成

理 事 6 名 評議員 7 名 監 事 2 名

(2) 役員等の任期

ア 理事及び監事

令和元年 6 月 27 日 ～ 令和 2 年度の最終のものに関する
定時評議員会終結の時

イ 評議員

平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年度の最終のものに関する
定時評議員会終結の時

7 理事会・評議員会開催予定

令和 3 年 6 月 前年度事業報告及び決算報告

11 月 事業中間報告及び補正予算

令和 4 年 3 月 次年度事業計画及び次年度予算、今年度補正予算

8 理事・監事・評議員の研修計画

主催 熊本県・全国社会福祉協議会、
熊本県・全国社会福祉経営者協議会、福祉施設経営研究会等

経営者協議会 経営研修会	5 月
社会福祉施設士会研修会	5 月
社会福祉法人制度改革対応セミナー	7 月
県議・市議との意見交換会	8 月
全国社会福祉施設経営者大会	9 月
社会福祉法人制度改革対応セミナー	12 月
熊本県・熊本市行政との意見交換会	1 月
高齢者福祉事業 経営セミナー	2 月
障害者福祉事業 経営セミナー	2 月
社会福祉法人 経営者セミナー	3 月